

目 次

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて	1
1. 岸和田サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
㊦大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
IV. 令和6年度後期 岸和田サテライト開講授業	11
1. 大学院授業科目	11～12
2. 学部授業科目	13～14

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて

1. 岸和田サテライトの紹介

和歌山大学岸和田サテライトは、岸和田市をはじめとした大阪府泉州地域における住民主体の地域づくりと次代を担う人材育成に取り組んでいます。

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月、岸和田市立浪切ホール(現南海浪切ホール)に岸和田サテライトを開設しました。本学が有する高等教育機能を活用して、社会人のスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しているほか、専門性豊かな生涯学習の拠点として、一般市民を対象にした無料公開講座「ワダイノLIVE」や講演会も実施しています。

【学部開放授業】 フィールドワークや実習を取り入れた科目を開講



フィールドワークの様子



授業の様子

【大学院経済学研究科授業】 現代社会・地域課題に沿ったテーマを開講



大学院授業の様子①



大学院授業の様子②

【ワダイノLIVE】



無料公開講座

【講演会】



「岸和田サテライト友の会」講演会

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」があります。

令和6年度後期に岸和田サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

それに伴うパソコン・WEBカメラ・マイクの他、インターネット環境等は各自でご準備ください。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上（高校生は除く）
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり (成績評価において合格した科目ごとに所定の単位が与えられます。)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※令和4年度より「履修できる期間」の制度廃止に伴い、履修期間(1学期又は1年)毎に検定料と入学料及び授業料を徴収します。	聴講料 11,000円（1科目） ※現在、登録期間中の方は10,000円（1科目） ※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。 <u>ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。</u>
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。 ※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。	
そ の 他	サテライトの授業は、土曜日および平日夜間を中心に行います。 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトにも、科目等履修生として履修できる経済学研究科修士課程の授業科目があります。	

●大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院(経済学研究科)の授業を土曜日および平日夜間を中心に、原則南海浪切ホールで開講します。
- 入学資格は、大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として、大学院授業受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を修得できます。
- 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講できます。
(詳しくは、学務課学部等支援室経済学部係までお問い合わせください)
- 1学期毎に履修申請が必要です。

〈問い合わせ先〉

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

【修士課程(経済学研究科)への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について上記問い合わせ先までご照会ください。

○既修得単位認定制度

本学大学院修士課程(経済学研究科)に入学した場合、本研究科開講の科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。

●学部開放授業受講制度とは

【概要】

- 学部開放授業(連携展開科目)を原則土曜日に南海浪切ホールで開講します。18歳以上(高校生は除く)であれば聴講申請できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講できます。

【受講可能期間】

- 2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。
ただし登録期間の有効期限が2024年10月1日以降の学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

●募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、11～12ページをご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

※受講に際しては、PC等の受信端末やネット環境等を各自で準備してください。

※各自が持参したノートパソコンを用いる授業科目、履修条件がある授業科目があるので、出願前に問い合わせ先(P. 5 ●出願先・問い合わせ先)まで照会してください。

※経済学研究科は改組に伴いプログラム制となっています。進学希望の方は、出願前に修了要件等について問い合わせ先までご照会ください。(P. 5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

●募集人数

各科目とも、若干名

●出願期間

令和6年8月20日(火)～8月26日(月)(必着)

●出願方法

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
詳しくは、学務課学部等支援室経済学部係までお問い合わせください。(P. 5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※入学資格について不明な点のある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1カ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

○検定料

5,000円

○出願書類

「岸和田サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍謄本等それが分かる書類を添付してください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

ただし、卒業(修了)証明書の原本を過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)又は科目等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送(期限必着)してください。持参する場合は9:00~17:00(ただし12:00~13:00を除く)に提出ください。その際、封筒の表に「岸和田サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、郵送の場合「特定記録」郵便で送付してください。

●**選考および結果通知**

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続き書類を同封します。

●**入学手続き期間・手続き方法**

令和6年9月12日(木)~9月13日(金)(必着)

手続き書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)または持参(9:00~17:00 ただし12:00~13:00を除く)してください。詳細は入学手続き書類に記載します。

●**入学金・授業料**

入学金 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細については、入学手続き書類に記載します。

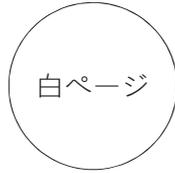
※所定の期日までに納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続き後のキャンセルについては、入学手続き書類を確認してください)

●**その他**

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

●**出願先・問い合わせ先**

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp



令和 年 月 日

岸和田サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) _____

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	東南アジア経済	1
<input type="checkbox"/>	中心市街地活性化	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和6年10月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -) TEL.() -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -) TEL.() - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学 ----- 年 月	
		卒 業 ----- 年 月	
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

令和6年度後期検定料の納入について（岸和田サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

C票 振込金受付証明書

令和6年度後期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	三井住友銀行 和歌山支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和6年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	三井住友銀行和歌山支店			
受取人	普通預金	6820828		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

令和6年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	三井住友銀行 和歌山支店 (普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	2	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				

金融機関で切り離してください。

振込指定	6820828
金額	5,000円
内訳	現金
取納印	

電話番号 () -

*金融機関へお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

(取扱店保存)

III. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

●聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位認定はありません。)

●募集科目および募集人数

「SDGs・人間」 (24名程度)：授業内容は13ページをご覧ください。

「未来都市を創造する」(24名程度)：授業内容は14ページをご覧ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※障がいの有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問合せ先までご相談ください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

●聴講申請方法

1. 申請の仮登録

岸和田サテライトHPの下記のフォームより仮登録を行ってください。

仮登録フォームURL：<https://sites.google.com/view/wadaikishiwada/>

登録期間：令和6年8月8日(木) 10:00～令和6年9月10日(火) 17:00まで

※先着順となるため、募集人数を超えた場合は受講できませんのでご注意ください。

(QRコードを
お使いください)



2. 聴講料の納入

受講が可能になった方から、岸和田サテライトより申請書と振込方法(振込依頼書またはATM・ネットバンキングによる方法)を記載した書類をメールにて送付しますので聴講料をお振込みください。なお、振込後の返金はいたしかねます。

3. 申請書類の提出

金融機関などで振込依頼書またはATM・ネットバンキングにより振込後、振込金受付証明書を貼付(ATM・ネットバンキングによる振込の場合は振込金額が分かる書面コピーを添付)のうえ学部開放授業聴講申請書を和歌山大学岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きして「特定記録」郵便で送付してください。

提出期間：令和6年8月20日(火)～9月18日(水)(必着)

※持参による申請書提出は、事前に岸和田サテライトまでご連絡ください。(受付時間9:00～17:00 日曜・月曜・祝日は休み。)

※9月18日(水)までに聴講料の納入と、申請書類の提出のいずれかを欠く場合には受講できませんのでご注意ください。特に郵送する場合は、郵送期間を考慮に入れて期限までに必着するようお願いします。

4. 参考

※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。

ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

聴講料とは授業料にかわるもので、

【新規申請者】：1科目※【11,000円】です。

【登録期間中聴講学生】：1科目※【10,000円】です。

→令和6年10月以降の登録者証(カード)の有効期限が残っている方

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

●受講通知

申請期間の終了後、授業の案内を送付します。

●フィールドワークについて

交通費など諸費用については、各自のご負担となります。

またフィールドワークに伴う保険料をご負担いただく場合があります。

●問い合わせ先

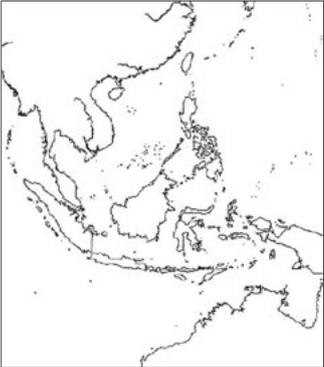
仮登録後、7日以上過ぎても岸和田サテライトから電子メールが届かない場合は、下記の窓口までお問い合わせください。

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 岸和田サテライト	〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 南海浪切ホール2F	072-433-0875 (faxも同じです) kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 9:00~17:00 (日曜・月曜・祝日は休み)

IV. 令和6年度後期 岸和田サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	東南アジア経済 (Southeast Asian Economic Development)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岡部 美砂		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：10月10日(木) 18:00～21:00	第3回：10月24日(木) 18:00～21:00	
	第2回：10月17日(木) 18:00～21:00	第4回：10月31日(木) 18:00～21:00	
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>アジア通貨危機や世界金融危機を乗り越えて、著しく成長する中国経済の影響を受けつつ、東南アジア諸国で形成されるASEANは、東アジア地域連携のハブ的な役割を果たしてきました。本講義では、東アジアの地域経済協力の要としての役割が期待されるASEANによる、地域経済統合に向けた取り組みと、その現状(貿易・直接投資構造の変化、サービス分野の自由化、技術移転・人的資源の協力体制等)に関して、開発経済学・国際貿易理論の分野を中心に多くの研究論文をサーベイしながら学びます。また、東南アジア各国の多様な経済発展過程について、世界経済全体とともに概観することで、今後の東アジア地域経済の展望を考えます。</p>			
<p>【授業計画】</p> <p>第1回 イントロダクション、講義のねらいと進め方、主な分析枠組みと文献の解説</p> <p>第2回～4回 地域経済統合とASEAN経済共同体、ASEANの貿易・直接投資、 グローバルバリューチェーンへの参加、ASEANの国際インフラ開発の経済効果、 ASEANの域内所得水準格差</p> <p>国別ケーススタディ1…インドネシア経済 国別ケーススタディ2…ベトナム経済 国別ケーススタディ3…カンボジア経済</p>			
			
<p>【到達目標】</p> <p>東南アジア地域および各国経済の発展過程と現状に関する重要文献をサーベイし、諸課題に対して経済学的な視点から議論できる。</p>			
<p>【成績評価の方法・基準】</p> <p>レポート(60%)および議論への貢献度(40%)で評価します。</p>			
<p>【教科書・参考書・参考文献】</p> <p>適宜、課題とする論文(和文・英文)を事前にMoodle等を通じて指示・配布します。</p>			
<p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>この授業は岸和田サテライトで開講します。現地もしくはオンラインで受講してください。</p> <p>受講生には国際経済学の最新論文を数多く読んで理解することを求めます。国際経済学、特に国際貿易理論やミクロ経済学の知識は必須です。必ず事前に履修または自習しておいてください。また、使用する論文や資料は英文のものがほとんどです。英文資料が読めることが求められます。</p>			
<p>【履修する上で必要な事項】</p> <p>事前に参考文献(英文、論文)を数多く指定しますので、かならず毎回の講義までに読んでおくことが求められます。</p>			
<p>【履修を推奨する関連科目】</p> <p>国際経済学</p>			
<p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>事前に指定された参考文献(論文)を十分に読んで予習することが求められます。各論文の内容に沿って、経済数学等の参考書を用いて事前に十分な予習しておいてください。</p>			
<p>【その他連絡事項】</p> <p>ミクロ経済学および経済数学の知識が必要です。必ず事前に履修または自習しておくこと。使用する論文や資料は英文のものがほとんどですので、英文資料が読めることが求められます。経済学の基礎知識がない人は基礎的な経済学(ミクロ経済学、経済数学)をまず履修するか、または十分に自習した後この講義を履修してください。</p>			
<p>【授業理解を深める方法】</p> <p>受講生は自身の関心に沿った担当テーマに沿って指示された論文等を事前に読んだうえで解説を行う発表形式で進めます。</p>			

授業科目名 (英語表記)	中心市街地活性化 (Theory of Revitalization of Town Center)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	足立 基浩		
開 講	岸和田サテライト	区 分	大学院
実施日・時間	第1回：10月12日(土) 13:00～17:00	第3回：11月16日(土) 13:00～17:00	
	第2回：11月2日(土) 13:00～17:00		

【授業の概要・ねらい】

日本とイギリス等の中心市街地問題を取り上げます。中心市街地問題に関する理解を深めるため、まちづくり全般の理論、実証方法、文献の紹介などを行います。また、各種事例についても学びます。

【授業計画】

第1回

- ・イントロダクション
- ・中心市街地活性化とは何か？
- ・中心市街地の現状

第2回～3回

- ・中心市街地再生の理論と実例
- ・全体のまとめ

【到達目標】

中心市街地問題に関する理解を深め、課題設定と解決策の議論ができる能力を養います。

【成績評価の方法・基準】

一定の情報量の中で、「中心市街地活性化に資する政策とは何か」を考えることができているかを評価します。具体的な質問に対し解答する形でのレポート(2枚程度)の提出にて評価を行います。

【教科書】

「シャッター通り再生計画」足立基浩 ミネルヴァ書房 2010年

「新型コロナとまちづくり」足立基浩 晃洋書房 2021年

【参考書・参考文献】

「地方版エリアマネジメント論」上野美咲 日本経済評論社 2018年

【履修上の注意・メッセージ】

積極的な参加を望みます。

【履修する上で必要な事項】

特に教科書は事前に読み込んでおいてください。

【履修を推奨する関連科目】

特にありません。

【授業時間外学修についての指示】

十分な予習、復習を望みます。なお、新聞記事や雑誌などに目を通し、中心市街地に関する情報(政策や事例など)を日々チェックしてください。

【その他連絡事項】

この授業は岸和田サテライトで開講します。現地もしくはオンラインで受講してください。

【授業理解を深める方法】

普遍的なモデルが存在しない題材に対し、学生自らが合理的な解を導き出す学習。



2. 学部授業科目

授業科目名 (英語表記)	SDGs・人間 (SDGs・Human)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	岡崎 裕、村田 和子、岡田 真理子、本庄 麻美子、越野 章史、本村 めぐみ、古井 克憲		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：10月5日(土) 13:00～17:00	第4回：11月9日(土) 13:00～17:00	
	第2回：10月12日(土) 13:00～17:00	第5回：11月30日(土) 13:00～17:00	
	第3回：10月19日(土) 13:00～17:00	第6回：12月7日(土) 13:00～17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年の国連サミットで策定された世界で2030年までに達成すべき持続可能な開発目標である。近年、これについて産・官・学・民のそれぞれのセクターにおいて多くの取り組みが進められており、2023年はその中間年として、前半の総括とともに更なる進展が期待されるタイミングである。この機において、和歌山大学では大阪におけるサテライト科目として、これを包括的かつ実践的に学ぶべく新たに本科目を設定した。この講座では、産業界、行政、学術、そして市民社会の各セクターがSDGsを実現するために取り組む様々な取り組みを紹介し、特に人に関する目標に焦点を当てて探求する。各回の講義では、SDGsの本質を理解するために必要な背景や目標について解説し、教育、貧困、健康、ジェンダー平等、雇用、平和など、17の目標のうち「ひと」に焦点を当てた課題に取り組む。各回の講師が、それぞれの専門分野から知識を提供し、受講生がSDGsの目標に関連する課題を捉え直し、解決策を考え出す手助けをする。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回 オリエンテーション・SDGsと教育 目標4「質の高い教育をみんなに」を中心に 和歌山大学教育学部 岡崎 裕教授 村田 和子名誉教授</p>			
<p>第2回 子どもの人権:子どもが育つ環境と貧困問題 目標1「子ども達の生きる多様な家族を知る」(本村) 目標2「貧困が子どもの成長にあたる影響を知る」(越野)を中心に 和歌山大学教育学部 越野 章史准教授 本村 めぐみ准教授</p>			
<p>第3回 ジェンダーと男女平等 目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性と女児の能力を最大限に発揮できるようにする」を中心に 和歌山大学経済学部 岡田 真理子准教授</p>			
<p>第4回 完全雇用と働きがいのある人間らしい仕事の推進 目標8「包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する」を中心に 和歌山大学経済学部 本庄 麻美子准教授</p>			
<p>第5回 健康と福祉 目標3「すべての人に健康的な生活と福祉を」を中心に 和歌山大学教育学部 古井 克憲准教授</p>			
<p>第6回 いのちと平和 目標16「平和と公正をすべての人に」を中心に 和歌山大学教育学部 岡崎 裕 教授 ゲストスピーカー 和歌山信愛大学 伊藤 宏副学長</p>			
			
【到達目標】			
<p>受講生が、SDGsの経緯、並びにその本旨について理解し、17の目標についてその本質を説明できるようになる。さらに本年においてはSDGsの目標に示された「ひと」に関連する課題を、捉え直し、その解決に向けて考え、加えて具体的な提案ができるようになる。</p>			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
<p>授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方を含めた総合評価を行う。</p>			
【教科書】			
<p>特に指定はしないが、授業の過程において適宜参考文献を示す。</p>			
【参考書・参考文献】			
<p>授業中に示す。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、可能であれば、教育、貧困、健康、ジェンダー平等、雇用、平和に関連するニュースなどの情報に目を通しておいください。</p>			
【履修する上で必要な事項】			
<p>担当された授業を受講し、積極的に参加すること。</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>事前・事後学習については、その都度連絡します。</p>			
【授業理解を深める方法】			
<p>普段からSDGsに関心を持ってください。</p>			

授業科目名 (英語表記)	未来都市を創造する (Design our future city)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	足立 基浩、秋山 演亮、藤永 博、吉田 登、松田 憲幸、床井 浩平		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：12月14日(土) 13:00～17:00	第4回：2月1日(土) 13:00～17:00	
	第2回：12月21日(土) 13:00～17:00	第5回：2月8日(土) 13:00～17:00	
	第3回：1月25日(土) 13:00～17:00	第6回：2月22日(土) 13:00～17:00	

【授業の概要・ねらい】

この講座では、都市の未来を切り拓くためさまざまな領域に焦点を当て、その最先端の研究や開発の現在地について詳しく説明する。さらに、そこから得られた知見をもとに、どのような未来都市が創造できるかを探求していく。各回の講義は、宇宙ビジネスからカーボンニュートラルな都市づくり、防災対策、人工知能の活用、そして健康で生きられる都市づくりまで、幅広いテーマを網羅している。それぞれの専門分野から導き出した知見から、最終的には、ディスカッションを通じて、新しい未来都市のかたちについて、新たな視点やアイデアを生み出していく。

【授業計画】

- 第1回 カーボンニュートラルを達成する都市づくり
和歌山大学システム工学部 吉田 登教授
- 第2回 広がる宇宙ビジネスと地域の関わり
和歌山大学イノベーションイニシアティブ基幹 秋山 演亮教授
- 第3回 新しい防災への取り組み
和歌山大学システム工学部 床井 浩平准教授
- 第4回 人工知能とその活用で都市はどう変わるか
和歌山大学社会インフォマティクス学環 松田 憲幸教授
- 第5回 都市とウエルビーイング 健康で生きられる都市づくり
和歌山大学経済学部教授 藤永 博教授
- 第6回 新しい未来都市のかたち
和歌山大学経済学部教授 足立 基浩教授



【到達目標】

さまざまな分野の知見をもとに、新しい未来都市のかたちについて分野横断的に話し合い、その可能性を提案することができる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

授業ごとの目標に対する達成度評価を基本とし、授業の関わり方・課題への取り組み方を含めた総合評価を行う。

【教科書】

特に指定はしないが、授業の過程において適宜参考文献を示す。

【参考書・参考文献】

授業中に示す。

【履修上の注意・メッセージ】

授業テーマに関連する社会的な出来事に関心を持ち、可能であれば、各分野の関連するニュースや、本の記述などに目を通しておくこと。

【履修する上で必要な事項】

配当された授業を受講し、積極的に参加すること。

【授業時間外学修についての指示】

事前・事後学習については、その都度連絡する。

【授業理解を深める方法】

ディスカッションや発表などを積極的に取り入れ、テーマについてより深く検討、整理する時間を確保します。

〈気象警報発表時・交通機関運休時等の授業取扱について〉

岸和田市に「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」のいずれかが発表若しくは「南海本線」「JR阪和線」の両線が運休等した場合は、その期間中の授業は休止となります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき、次の方針を定め、適正に取扱います。

「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する基本指針」
(和歌山大学HP)

